



首都圏ふるさと湯沢会

首都圏ふるさと湯沢会の第16回総会が東京都千代田区で開催されました。3年振りとなる今回は、首都圏に住む市出身者など約120人が参加。市からは、佐藤市長や渡部市議会議員がお祝いに駆け付け、市政の近況などを報告しました。懇親会では、参加者がお互いにふるさとを懐かしみながら、思い出話を花を咲かせていました。

また、会場内には恒例の湯沢の物産販売コーナーが設けられ、ふるさとの味を買い求める人でにぎわいました。



3月5日

交通ルールを守って、元気に登校を

湯沢地区交通安全協会(会長:長雄潤二、写真左)から令和5年度小学校新入学児童への「黄色い帽子」贈呈式が行われました。

長雄会長は「この帽子には協会の『交通事故にあわないように』という願いが込められている。交通ルールを守りながら元気に登校してほしい」とあいさつ。和田教育長に黄色い帽子が贈られました。



3月27日

無病息災、五穀豊穡を願って

岩崎地区の守り神として信仰されている巨大なわら人形「鹿嶋様」の衣替えをする「鹿嶋まつり」が行われました。

鹿嶋様は、骨組み以外全て稲わらで作られており、人形製作の技術、工程などとともに、古来より地域住民の間で受け継がれてきたもの。この日は緑町、末広町の鹿嶋様の衣替えが行われ、住民たちは無病息災や家内安全、五穀豊穡を祈願しました。



4月16日



3月19日

春の空を飾る湯沢凧

湯沢凧のPRと伝統文化の継承を目的とした「第66回湯沢市凧あげ大会」が、B & G海洋センター前広場で開催され、市内の子どもたちや県内外から訪れた凧愛好家ら約90人が自慢の凧でその技術を競い合いました。

当日は曇り空で肌寒かったものの、子どもたちは寒さを忘れ、元気いっぱい会場を走り回って凧揚げを楽しんでいました。



3月25日

持続可能な地域農業の実現を

秋田(湯沢)自然&有機栽培農学校(代表理事:菊子晃平(湯沢市ふるさと応援大使))の開校式セミナーが、湯沢ロイヤルホテルで開催されました。

開校式では、菊子代表理事(写真)が「有機栽培の生産力向上と持続可能な地域農業を実現し、新たな時代に挑戦してほしい」とあいさつ。セミナーでは、自然栽培の先導者として活躍する佐伯康人氏(一般社団法人シゼンタイ全国循環型社会協議会代表理事)による講演が行われました。



3月22日

新入学児童の安全・安心な登下校を

湯沢市防犯協会(会長:髙久崑一、写真左)が、市内小学校と稲川支援学校の令和5年度入学児童へ防犯用ブザー216個を寄贈しました。

髙久会長は「市民の防犯や防犯協会に対する理解を深め、子どもたちが安全・安心に過ごせるよう活用してほしい」とあいさつ。和田教育長に防犯用ブザーが贈られました。

